

The SWEDEN HOUSE THE PERFORMANCE FOR OUR PLANET



CONTENTS

[Special] 我が家を愉しむ SUMMER VALUE STYLE

[Owner's Story]

自由は家の中にある。

14

— [Technology] スウェディちゃんの なぜ?なに?どうして?

教えてムース先生!

18

[Culture] 私の小宇宙Sweden

19

[Essay] ウフフの我が家

The moment of mjuk

[OWNER'S CIRCLE] Good Neighbors

[SWEDEN HOUSE CIRCLE] Good Neighbors

発行人:岡田 正人 編集人:大竹 愛子 プロデュース:(株)DGコミュニケーションズ









見据えて。 将来の安心を

スと出合ったのは、一人暮らしを にするすべてが、時を重ねたものに ると、静謐な空間が現れました。目 ご実家の建て替えを検討されてい されていたお母様との同居を考え、 しか宿らない魅力に溢れています。 緩やかなスロープを上り玄関に入 中川さんが、スウェーデンハウ

奥様:しっかりした性能があるか

け、最初に入ったのがスウェーデン ハウス。入った瞬間、暖かさに包 ご主人: 3人で住宅展示場に出か

> ました。 ビングは暖かくても、廊下が寒い は、母にとってよくないなと思い 軒回って、もう一回スウェーデンハ 同じでした。その後他社を2~3 んです。家の中に温度差があるの いが歴然としていました。 ウスに戻ってみると、暖かさの違 まれ、その心地よさは家中どこも

のも、モデルハウスを参考にしま 2階にファミリールームを設けた の部屋までの間に洗面、 らでしょうね。間取りの面でも、 トイレを効率よく配置したのも、 他社とは違いました。玄関から母 お風呂、





も後悔しないのは、このサイズだろ きました。介護が必要になった時に レや引戸の幅を広くすることがで スは標準で1200㎜。だから、トイ が一般的ななか、スウェーデンハウご主人:基本モジュールも、900㎜

んでから、私は風邪をひいていま **ご主人:スウェーデンハウスに住** プラスだったとおっしゃいます。 暮らせる家は、ご自身にとっても フリーです。温度差や段差をなく 框もなくし、 時に困らないこと。玄関の上がり 重視されたのは、お母様の健康で し、将来にわたって安全かつ快適に した。そして介護が必要になった 中川さんが家づくりでいちばん 1階は完全なバリア

せん。一昨年90歳で亡くなった母 も風邪はひかなかったですね。

二つとない 私たち」の空間。

い季節の花や表情豊かな土の器が感ある家具の中には、みずみずし に、年代物の水屋箪笥など。存在 材を活かした内装、時を経た蔵戸 ながりにした大空間です。自然素 心に、ダイニングと和室をひとつ

をつくり出しています。しっくりと馴染んで、趣ある空間

ばいいなと。 か洋とかは関係なく、空間に合え ンジするのが愉しいんです。和と ぞれの居場所を考えながら、ああ 物、お花や花器、小物など、それ せてインテリアを変えたくて。 奥様:私は春夏秋冬、季節に合わ しよう、こうしようと自由にアレ

のパイン材と窓枠、そして床材にという希望があったんです。天井 もいい大事な場所です。います。このリビングは誰が来て 性能があるから、実現できたと思 ウェーデンハウスの頑丈な構造や も柿渋を塗ってもらいました。ス それで、壁を和紙貼りにしたい

盛って。正直、外食できなくなり くります。それを気に入った器に 旬の食材を活かした手料理をつ い。妻は料理をするのも好きで、 ろげる。ワインがより一層おいし 中にいるような感じで本当にくつ を、といろいろ勉強してペンダン スだけでいい。くつろげる明かり でした。明るいだけの光はオフィ そして照明、素材、音(サウンド) 思ったのは、まず木のぬくもり。 るべきです。そのために大事だと ご主人:家は癒される空間であ トと間接照明のみにしたら、森の

中川さんのお宅はリビングを中





OWNER'S STORY /

自由は家の中にある。

程を愉しんでいるので、終わった後

は心地よい充実感です。

ング、

装花、料理などすべての過

す。器や布物のセレクトとセッティ 響くと皆さんおっしゃって下さいま に季節のあじさいを設えて。

ホ |

ムコンサー

トの歌声や音もきれいに

ろいでいただけるよう、1~2ヶ月 ト」を行いました。皆さんにくつ ここで「あじさいホームコンサ がいちばんうれしい。つい先日も、

くらい前から準備を始めて、最後

場にもなったりするそうです。 音楽を愉しむランチコンサートの会 ラリーになったり、季節の手料理と お食事会を開いたり、陶芸のギャ お友達を招いて料理教室を兼ねた えるスペースとしても活躍します。

奥様:お客様に喜んでいただけるの

3層窓の遮音性能で、音が外に漏

れる心配がありません。家が最高

この大空間は、時にお客様を迎

くる。これがいい。大音量にしても、すよ。無垢の床は下から音が返って

です。木は音の反射が柔らかハんであとは、ここでジャズを聴くん

ンデッキも、

もちろん使われます。

リビングから気軽に出られるサ

す。光と風がいいんですよね。サンご主人:我が家の第二のリビングで

天ぷらやフォンデュ、焼き肉なんか をここでやるんです (笑)。 奥様:子どもや孫が来た時にも、

られ、陶芸は始められて早7年の 様の影響もあり、器づくりに魅せ 学生時代からバイクがご趣味。奥 料理をつくったり、手を動かすこと 奥様:器は大事なものでも、日常 腕前とか。 と並んだ部屋も。一方、 が大好き。2階には、器がずらり います。奥様は縫物をしたり、 趣味を深める時間も大切にされて お二人は、それぞれにご自分の ご主人は、 お

いるということはないですね。家でテレビを見ながらゴロゴロして 年越しそばは孫と一緒に…。休日に、 れていいですね。同じような感覚で 芸で土を練っている時間も、無にな ご主人:私はバイクで自然に触れ かで暖かいから、ぐっすり寝ていまりにくる部屋にもなっています。静 にしたんです。今は孫たちが泊ま 取って愉しめるように、見せる収納 切って使います。そのためにも手に 生活に欠かせないものとして思い しょうか、そば打ちもします。毎年、 るあの感じが忘れられなくて。陶

安心・快適な家で、ご自分たち

創り上げ、

積極的に愉しんでおら

れました。お二人が、ていねいな暮

アイディアでより心地よい空間へと ウェーデンハウスを、自らの感性と さん。シンプルで自由度の高いス の「好き」を実現されてきた中川

二の価値ある場所に他なりません。隅々から感じます。そこは、唯一無 重ねてきた時間の豊かさをこの家の らしを紡ぎながら、じっくりと積み 違った心地よさがあります。デッキで食べるのは、室内とはまた

壁や天井です。 思いのほか変わらないのが、この に生活は少しずつ変わりましたが、 奥様:この18年、家族構成ととも

要性を実感しました。 とですよね。それと、何といって や温度などの環境が良いというこ います。それだけ、家の中の湿気 く狂いがない。本当に良くできて ご主人:壁、床板、どこもまった も暖かいです。家の中の温度の重

そう考えてスウェーデンハウスを建 据えてトータルでどうあるべきか。 ちの選択に、より確信を持ちました。 てました。18年経って、当時の私た ストは安くはないけれど、将来を見 箱が活きていると思います。建築コ 重要ではないでしょうか。今、 やはり家という「箱」は、とても

18年後の確信

The SWEDENHOUSE 173 The SWEDENHOUSE 173 13 12